

目標および成果指標の設定 記入様式

活動団体名： コラコラ

上位関連計画にみる地域の将来
 ○第5次石垣市総合計画 基本構想（令和4年3月）（計画期間：令和4年度～令和13年度）
 ・2030年のあるべき姿（抜粋）
 自然と文化を愛し、創造する市民の創出（環境負荷の少ない社会資本の追求、文化保全）
 連帯と協働の精神にささえられた意欲ある市民の創出（持続可能な経済活動の推進、資源の循環）

②具体的な取組
 ローカル経済事業
 コラコラ認証の推進（参加型ローカル認証）、排水浄化の取り組み、石垣型林業の構築
 資源循環事業
 石垣島キエーロプロジェクト（コンポスト普及・提案）、MMO（マイボトルで水おかわり）、
 葉っぱ包装（プラスチック用品の削減）、大☆ぶつぶつ市（不用品を資源として循環）、
 海洋プラスチックアップサイクル、古い建物の修繕・マッチング
 市民啓発事業
 コミュニティでの助け合い、給食のオーガニック化、市民学校（生涯学習施設）

①ありたい未来
 ゴミはゴミにならずに資源として循環し、人的な資源も循環することで、島全体がつながりあう「巡る島」。
 地域循環共生圏の構築により「人々の充足感」と「自然環境の再生」が両立する社会。
 ・ローカル経済事業、資源循環事業、市民啓発事業、これら三つの事業の取り組みが連携することで、環境的に持続可能で、社会的につながりあい、精神的にも充足した地域環境が実現を目指す。
 ・三つの事業（ローカル経済事業、資源循環事業、市民啓発事業）が地域内で展開されることで、人と地域がつながり、それにより人々の生活がより豊かで満たされたものになり、物や金銭ではなく、共有することで豊かになれる地域社会へと移行し、

③短期目標

| 分野 | 小項目 | 成果指標 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | 単位 |
|----|----------|-----------------|-----|-----------|-----------|----|
| | | | | (2023年度末) | (2022年度末) | |
| 環境 | ローカル経済事業 | コラコラ認証取得事業者数 | 11 | 15 | 15 | 事業 |
| | 資源循環事業 | コンポスト（キエーロ）販売個数 | 30 | 50 | 78 | 個 |
| | 資源循環事業 | 給水所の件数 | 20 | 30 | 40 | 件 |
| | 資源循環事業 | ペットボトル無し自販機 | 0 | 5 | 1 | 件 |
| | 資源循環事業 | 葉っぱによる代替品開発 | 0 | 1 | 0 | 件 |
| | | | | | | |
| 経済 | 資源循環事業 | 大☆ぶつぶつ市開催回数 | 6 | 10 | 13 | 回 |
| | 資源循環事業 | 大☆ぶつぶつ市参加人数 | 200 | 300 | 800 | 人 |
| | | | | | | |
| 社会 | 市民啓発事業 | 食育授業開催回数 | 0 | 5 | 3 | 回 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

④長期目標

| 分野 | 小項目 | 成果指標 | 現状値 | 目標値 | 目標年度 | 目標値 | 単位 |
|----|----------|----------------------|-----|---------|-------------|--------|----|
| | | | | 2023年度末 | 2030-2050年度 | | |
| 環境 | ローカル経済事業 | コラコラ認証取得事業者数 | 11 | 15 | 2030年度 | 100 | 事業 |
| | ローカル経済事業 | バイオジョフィルター設置件数 | 1 | 2 | 2030年度 | 5 | 件 |
| | ローカル経済事業 | 林間放牧実施区域数 | 0 | 1 | 2030年度 | 3 | 件 |
| | 資源循環事業 | コンポスト個数 | 30 | 50 | 2030年度 | 300 | 個 |
| | 資源循環事業 | 生ごみ焼却削減率 | — | 10 | 2030年度 | 100 | % |
| | 資源循環事業 | ペットボトル販売本数の削減率 | — | 0 | 2030年度 | 100 | % |
| | 資源循環事業 | 給水所の件数 | 20 | 30 | 2030年度 | 300 | 件 |
| | 資源循環事業 | ペットボトル無し自販機や店舗、売場の件数 | 0 | 5 | 2030年度 | 100 | 件 |
| | 資源循環事業 | 葉っぱ包装の利用件数 | 0 | 3 | 2030年度 | 30 | 件 |
| | | | | | | | |
| 経済 | 資源循環事業 | 大☆ぶつぶつ市開催回数や来場人数 | 6 | 10 | 2030年度 | 180 | 回 |
| | 資源循環事業 | 大☆ぶつぶつ市参加人数 | 200 | 300 | 2030年度 | 17,600 | 人 |
| | 資源循環事業 | 新素材商品開発の達成 | 0 | 1 | 2030年度 | 5 | 件 |
| 社会 | 資源循環事業 | 古い建物修繕事例やマッチング件数 | | | 2030年度 | | |
| | 市民啓発事業 | 地域通貨やまちのコインへの参加者増加率 | | | 2030年度 | | |
| | 市民啓発事業 | オーガニック給食の提供日数又は食数 | | | 2030年度 | | |
| | 市民啓発事業 | オーガニック栽培を開始する農家件数 | | | 2030年度 | 50 | 件 |
| | 市民啓発事業 | 食育授業開催回数 | 0 | 5 | 2030年度 | 15 | 回 |
| | 市民啓発事業 | 市民学校の講座開設数 | | 2 | 2030年度 | 30 | 回 |

月2回×12か月×7年+13回(実績)
 100人★24回×7年+800人(過去実績)

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

短期的には、コラコラ認証事業を進めながら、ありたい未来の理解者・応援者・連携者を増やしつつ、コンポストの普及や大☆ぶつぶつ市など、地域住民を対象とした活動も実施する。このような事業で実績を積み重ねながら、プラットフォームの規模を拡大し、各種事業の実践・展開に結び付ける。長期的には、ローカル経済事業、資源循環事業、普及啓発事業から派生する各種事業が地域内で安定的・継続的に実践されることで、人々の意識や行動が変わり、その取り組みを応援する人々が増え、様々な事業が生まれ、地域課題が解決するといった循環を生み出せると考えています。

目標および成果指標の設定 記入様式

活動団体名： コラ コラ

上位関連計画にみる地域の将来
 ○第5次石垣市総合計画 基本構想（令和4年3月）（計画期間：令和4年度～令和13年度）
 ・2030年のあるべき姿（抜粋）
 自然と文化を愛し、創造する市民の創出（環境負荷の少ない社会資本の追求、文化保全）
 連帯と協働の精神にささえられた意欲ある市民の創出（持続可能な経済活動の推進、資源の循環）

②具体的な取組
 ローカル経済事業
 コラコラ認証の推進（参加型ローカル認証）、排水浄化の取り組み、石垣型林業の構築
 資源循環事業
 石垣島キエーロプロジェクト（コンポスト普及・提案）、MMO（マイボトルで水おかわり）、
 葉っぱ包装（プラスチック用品の削減）、大☆ぶつぶつ市（不用品を資源として循環）、
 海洋プラごみアップサイクル、古い建物の修繕・マッチング
 市民啓発事業
 コミュニティでの助け合い、給食のオーガニック化、市民学校（生涯学習施設）

①ありたい未来
 ゴミはゴミにならずに資源として循環し、人的な資源も循環することで、島全体がつながりあう「巡る島」。
 地域循環共生圏の構築により「人々の充足感」と「自然環境の再生」が両立する社会。
 ・ローカル経済事業、資源循環事業、市民啓発事業、これら三つの事業の取り組みが連携することで、環境的に持続可能で、社会的につながりあい、精神的にも充足した地域環境が実現を目指す。
 ・三つの事業（ローカル経済事業、資源循環事業、市民啓発事業）が地域内で展開されることで、人と地域がつながり、それにより人々の生活がより豊かで満たされたものになり、物や金銭ではなく、共有することで豊かになれる地域社会へと移行し、

③短期目標

| 分野 | 小項目 | 成果指標 | 現状値 | 目標値 | 実績値 | 単位 |
|----|----------|--------------------|-----|-----------|-----------|----|
| | | | | (2023年度末) | (2023年度末) | |
| 環境 | ローカル経済事業 | コラコラ認証取得事業者数 | 11 | 15 | 15 | 事業 |
| | 資源循環事業 | コンポスト個数 | 0 | 5 | | 個 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 経済 | 資源循環事業 | 大 ☆ ぶつぶつ市開催回数や来場人数 | | | | 回 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 社会 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

④長期目標

| 分野 | 小項目 | 成果指標 | 現状値 | 目標値 | 目標年 | 目標値 | 単位 |
|----|----------|---------------------------|-----|---------|-------------|-----|----|
| | | | | 2023年度末 | 2030-2050年度 | | |
| 環境 | ローカル経済事業 | コラコラ認証取得事業者数 | 11 | 15 | 2030年度 | 100 | 事業 |
| | ローカル経済事業 | バイオジオフィルター設置件数 | 0 | 10 | 2030年度 | 20 | 件 |
| | ローカル経済事業 | 林間放牧実施区域数 | | | | | |
| | 資源循環事業 | コンポスト個数 | | | | | |
| | 資源循環事業 | ペットボトル販売本数の削減率 | | | | | |
| | 資源循環事業 | 缶のみ販売自販機や店舗、売り場の件数、給水所の件数 | | | | | |
| | 資源循環事業 | 葉っぱ包装の利用件数 | | | | | |
| | 資源循環事業 | リユース容器実施事業数 | | | | | |
| 経済 | 資源循環事業 | 大 ☆ ぶつぶつ市開催回数や来場人数 | | | | | |
| | 資源循環事業 | 新素材商品開発の達成 | | | | | |
| | 資源循環事業 | アップサイクル製品の完成 | | | | | |
| 社会 | 資源循環事業 | 古い建物修繕事例やマッチング件数 | | | | | |
| | 市民啓発事業 | 地域通貨やまちのコインへの参加者増加率 | | | | | |
| | 市民啓発事業 | オーガニック給食の供日数又は食数 | | | | | |
| | 市民啓発事業 | オーガニック栽培を開始する農家件数 | | | | | |
| | 市民啓発事業 | 食育授業開催回数 | | | | | |
| | 市民啓発事業 | 市民学校の講座開設数 | | | | | |

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

短期的には、コラコラ認証事業を進めながら、ありたい未来の理解者・応援者・連携者を増やしつつ、コンポストの普及や大 ☆ ぶつぶつ市など、地域住民を対象とした活動も実施する。このような事業で実績を積み重ねながら、プラットフォームの規模を拡大し、各種事業の実践・展開に結び付ける。長期的には、ローカル経済事業、資源循環事業、普及啓発事業から派生する各種事業が地域内で安定的・継続的に実践されることで、人々の意識や行動が変わり、その取り組みを応援する人々が増え、様々な事業が生まれ、地域課題が解決するといった循環を生み出せると考えています。